

令和3年度第1回岡崎市学校給食センター運営委員会 書面会議録

1 書面提出期限

令和3年7月16日（金）

2 委員

会長	近藤 久美子	岡崎市小中学校現職研修委員会学校給食部会部長 (常磐小学校校長)
委員	中村 公治	岡崎市小中学校現職研修委員会学校給食部会部長 (秦梨小学校校長)
委員	金田 雅代	女子栄養大学名誉教授
委員	瀬尾 智子	岡崎市医師会理事
委員	織田 盛久	岡崎歯科医師会副会長
委員	守谷 みのり	岡崎市学校薬剤師会長
委員	服部 悟	岡崎市保健所長
委員	大原 加奈子	岡崎市PTA連絡協議会書記(藤川小学校母親代表)
委員	早川 知宏	岡崎市PTA連絡協議会会計(河合中学校会長)
委員	時原 弥生	市民公募
委員	丸谷 恵子	市民公募

3 議題

給食費の改定について

(1) 給食費の値上げについてどのように思われますか。

- | | |
|---------------------------|----|
| ①値上げは控えたほうがよい | 2名 |
| ②必要最低限の値上げはやむを得ない | 6名 |
| ③より給食内容が充実するように値上げしたほうがよい | 2名 |
| ④無償化すべき | 0名 |

(2) (1)で選択した理由について御記載ください。

(①値上げは控えたほうがよいに関する意見)

- ・4月分の給食費を無償化している中、値上げは道理にあわない。
- ・給食費を払うことが困難な家庭にとって、給食費の値上げはさらに負担が増えてしまう。
- ・児童、生徒が多い家庭ほど負担額が増す改定は、少子化対策にならないため避けるべき。
- ・給食供給時に栄養素摂取量の基準を満たしているなら、残食を無くし、供給量を完食できるような提供方法を考えるべき。

- ・物価上昇や消費税増税もあるが、地産地消で地域と連携して食材を確保しながら、給食費現額で献立作りをして欲しい。

(②必要最低限の値上げはやむを得ないに関する意見)

- ・給食費の無償化が理想だが、財政状況を考えると厳しいと思う。値上げをする際には、丁寧な説明が必要ではないか。
- ・負担できない家庭については、減免等の対応が必要ではないか。
- ・物価上昇もあり給食費の値上げはやむを得ないと思うが、各家庭の家計を考慮して、全国平均並みの栄養摂取ができるよう最低限の値上げで良いと思う。
- ・平成 21 年より 12 年経過し、物価の上昇や消費税の増税に対応する必要があるため、給食費の値上げはやむを得ないと思う。
- ・必要な栄養素摂取は重要だと思う。
- ・栄養素摂取量の不足、物価の上昇、消費税増税、公費負担の永続困難等を考えると、値上げはやむを得ないと思うが、必要最低限を強調したい。

(③より給食内容が充実するように値上げした方がよいに関する意見)

- ・国の重要課題である食育の推進は、子ども達に対する食育を重要視している。中でも学校給食を「生きた教材」として活用する食育の教科書は、日々の給食であり、食事内容の充実、安全安心、美味しいはもちろん第 4 次食育推進計画に示すように地場産物活用した教育にも給食費の値上げは必要と考える。
- ・公費負担が財政状況から困難となっている以上、値上げはやむを得ないと思う。

(④無償化すべきに関する意見)

- ・意見無し。

(3) その他ご意見がありましたら自由に記載してください。

- ・値上げした際の問題点を洗い出す必要がある。
- ・保護者と設置者の負担区分を理解してもらう必要がある。
- ・物価、使用量、食事内容が自治体ごとに異なるため、他市との給食費の比較は出来ない。
- ・残食量が毎年ほぼ同じだが、理由があるのか。
- ・残食量を減らすために検討していることは何か。
- ・経済的弱者に別途支援を検討して欲しい。
- ・近隣他市と同じぐらいの負担額ならば、保護者も納得すると思う。
- ・アレルギー児でも食べられるメニューの提供を引き続きお願いしたい。
- ・コロナ禍を踏まえ、値上げ幅は慎重に考慮すべき。
- ・平成 21 年から約 8 円値上げした牛乳を必ず給食につける必要はないのではないか。

岡崎市西部学校給食センター基本計画の策定について（報告）

意見有 1名

意見無 9名

(1) 岡崎市西部学校給食センター基本計画の策定についての意見

- ・災害時に対応できる機能の整備は重要だと思う。西部学校給食センターのみならず全センターで整備して欲しい。
- ・3本献立のメリットは分かったが、デメリットはあるのか。